



大中だより

<教育目標>

- ・進んで学習する人
- ・礼儀を大切にする人
- ・心身ともに健康な人

八丈町立大賀郷中学校

令和6年12月20日(金)

「感謝」

神様が たった一度だけ
腕をうごかしてくださるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう
風に揺れる
ペンペン草の実をみていたら
そんな日が本当にくるような気がした



副校長 丹野 清人

※無料画像使用

今年4月28日、星野富弘さんという方がお亡くなりました。この詩は、星野さんが書いた詩です。星野さんは、群馬県出身で大学を出た後、保健体育の先生として群馬県内の公立中学校に勤められました。勤め始めてわずか2か月。当時顧問だった体操部で部員に鉄棒の宙返りを模範演技したところ失敗、背中を強く打って脊髄を損傷してしまいました。

そのケガ以降、首から下が全く動かなくなり、寝たきりの状態になってしまいました。絶望の淵に落とされたものの家族の支援のもと、口に筆をくわえる方法で字と絵を描き始めました。9年間という長い入院生活の中で、生かされている喜びを草花の水彩画と詩によって表現しました。それは、「詩画」と呼ばれ、その作品の展覧会が全国各地で開催されるなど、大きな反響を呼んだそうです。故郷の群馬県みどり市の「富弘美術館」は、開館33年目を迎え、入館者は700万人を突破。作品展はこれまで全国各地約250カ所の他にもニューヨークやワシントンなど、海外でも開催され国境を超えて共感を呼んだそうです。

私たちは、幸いにも自由に動く腕があります。しかし、星野さんの詩にあるように、親の肩を存分にもんだことがあるのでしょうか。思春期を迎えた中学生の皆さんは、もしかすると不平不満を言いつのるばかりで、毎日安心した生活を保障してくれる保護者や、自由に動く腕があることに感謝するのを忘れてはいないでしょうか。また、保護者の皆様ももしかすると今さら親の肩もみなんて気恥ずかしくて・・・という方もいるかもしれません。

星野さんは、前述のように長い入院生活で寝たきりの生活を余儀なくされてしまいました。しかし、いろいろな人からたくさんの励ましの手紙が届き、一言でもいいから返事を書きたいという想いが、口で筆をとるきっかけになったそうです。感謝の気持ちを伝えるという気持ちが執筆活動の根源のひとつだったと言えるのではないのでしょうか。

感謝とは、「自分が生かされていることへの感謝」だと思います。自分の命をつなぐために毎日食べている植物や動物の多くの命に対する感謝であり、自分を支えてくれているたくさんの人たちに対する感謝です。感謝の気持ちを言葉では示しているけれど、行動ではどうでしょうか。ぜひ、行動で感謝の意を伝えましょう。まずは、恥ずかしがらずに親の肩もみをしましょう。きっと、喜んでもらえます。最後になりますが、令和7年も皆様にとって素敵な1年になりますように。よいお年をお迎えください。



◆ブログ「大中日記」日々更新しています。
タイムリーな話題を載せています。
ぜひご覧ください。

◇大中体験入学 12月12日（木）、13日（金）

梅組

大賀郷小学校の6年生が、大賀郷中学校の授業・部活動等を2日間にわたって体験しました。

初日は、いろいろな先生の授業を楽しんだり、休み時間に大中の様々な場所で思い思いに過ごしたりして、次第に緊張が解けていく様子が見られました。部活動では、中学生が6年生にその日の活動の内容を丁寧に伝え、その日1日の授業のことなど振り返りながら、一緒に楽しんでいました。

2日目の6時間目は、中学校の学級委員が企画した小中合同レクリエーション「おちゅりんピック」が開催されました。学校全体を使った謎解き大会では「謎が全部解けてうれしい！」と満足そうに教室にもどる6年生の皆さんが印象的でした。中学生との交流も、たくさんできたようです。学級委員の皆さん、お疲れ様でした！

時間の使い方や1日の流れなど、小学校と中学校ではいろいろな違いがあります。今回の体験を通して、中学校への不安が期待に変わればうれしいです。6年生の皆さんの入学を心待ちにしています。

桃組

桃組・桜組には、三根小学校ひまわり学級から2名の児童が体験に来てくれました。初めの方は、慣れない中学校の雰囲気や先輩たちの中で緊張している様子でしたが、ボッチャや授業・交流部での活動を通して徐々に慣れてきて、1日目の終わりには笑顔があふれ、楽しそうに過ごしていました。2日目には「おちゅりんピック」で梅組や大小6年生との交流ができ、「楽しかったー！」「また来たい！」と笑顔で帰っていきました。児童たちは、4月から始まる中学校生活に向けて、制服の着替えの練習をしたり、中学校の時程を把握したり、今から準備をしているそうです。大中の明るく温かい雰囲気の中で、梅・桃・桜共に春から生活できることを楽しみにしています。

◇八丈方言（劇団かぶつ観劇、交流会）11月26日（火）

今年度も劇団かぶつの皆様にお越しいただき、観劇と交流会を行いました。今回は、「ねむた地蔵 おきた地蔵」という演目を観劇させていただきました。劇は、いつも「くすっ」と笑えるストーリーとなっており、毎年生徒たちが楽しみにしている行事の一つです。八丈方言にあまり馴染みのない生徒でも、「演者の方たちの表情や表現力で意味が理解でき、面白かった。」という感想が聞かれました。

後半の交流会では、劇中に出てきた方言の意味を聞いたり、八丈島の昔のことについて教えていただいたりしました。これを機に、未来を担う生徒が、島の伝統や文化を伝え続けてくれることを願っています。

劇団かぶつの皆様、ありがとうございました。

◇職業講話 12月5日(木)

例年職業講話では、島内の事業所の方をお招きして、「八丈島で働くこと」についてのお話をいただいています。今年度は、島外にも目を向けてみようとして「パナソニックホールディングス株式会社」の社員の方に出前授業を行っていただきました。現在働いている部署の仕事内容や学生時代に学んだことが、社会に出た時にどのように役立っているかなどのお話をしていただきました。オンラインではありましたが、授業では集中して社員の方の話を聞き、積極的に質問をする生徒の姿が見られました。

事後アンケートでは会社の「組織」について考えを深めた生徒や「1つの会社の中にも色々な役割の人がいて、色々な関わりがある」と新たな発見をした生徒がいました。

各学年での進路学習で様々な授業や体験を行っていますが、今後も広い視野で自身の進路を考えられるよう、色々な機会を設けられたらいいと考えております。

◇1月の予定◇



12月25日(水) 終業式

桃桜冬祭り

26日～1月7日 冬季休業日

1月 8日(水) 始業式

百人一首大会

14～19日 学校公開週間

14日(火) 八丈太鼓(3校時 1年、4校時 3年)

15日(水) 町教研一斉部会

5校時研究授業(3年 4時間授業)

17日(金) 6校時 大中ラボ

英語検定一次

20日(月) やってみたいタイム

25日(土) 漢字検定

26日(日) 都立高校推薦入試

27日(月) 栄養士 食育朝礼

12月29日(日)～1月3日(金)

まで、学校閉庁日となります。

よろしくお願いします。

◇スクールカウンセラー来校日

1月15日(水)、22日(水)、29日(水)

相談をご希望の方は、副校長までご連絡ください。

◇PTA 運営委員会から

OP連卓球大会 (厚生保健委員会) 12月1日(日) 八丈高校体育館

今年は3チーム出場しました。A、Bチームは、予選リーグを優勝で上がり、1位トーナメントに出場しました。Cチームは、予選リーグを3位で上がり、決勝トーナメントで優勝しました。勝敗にこだわらず、保護者と職員が協力して卓球を楽しみ、懇親を深めることができました。



○木彫りコースター教室（文化広報委員会） 12月14日（土）美術室

今回は、本校美術科の教諭に講師をお願いしました。丸か六角形の木製コースターを選び、彫刻刀で彫っていきました。浮き彫りの技法など彫刻刀を扱う際のポイントを教えてもらい、生徒も保護者も教員も、コミュニケーションをとりながら楽しく制作する姿が見られました。令和7年2月15日（土）の作品展に向けて、作品を募集中です。今年度は大中が会場となります。ご協力よろしくお願いします。

